

消費者庁入札等監視委員会 第6回会議 議事概要

開催日及び場所	平成28年12月7日(水) 共用443会議室
委員	井手 秀樹 (慶應義塾大学商学部名誉教授) 河村 小百合 (株式会社日本総合研究所調査部上席主任研究員) 竹内 啓博 (公認会計士)
議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>○製造所固有記号制度及び機能性表示食品制度届出データベースの運用・保守業務</li> <li>○景品表示法執行NETシステムの機能追加及び改修業務</li> <li>○健康食品の機能性等に係るエビデンスのセカンドオピニオン事業</li> <li>○インターネット消費者トラブルに関する総合的な調査研究</li> <li>○アジア・オセアニア・欧州諸国における越境消費者トラブルに関する調査</li> <li>○親子参加型イベントにおける食品安全に関するリスクコミュニケーションの実施に関する業務</li> <li>○平成28年度機微度の高い情報をはじめとする情報の管理対策支援業務</li> <li>○その他</li> </ul>

○案件詳細	
【競争入札】 最低価格落札方式	<p>契約件名：製造所固有記号制度及び機能性表示食品制度届出データベースの運用・保守業務</p> <p>契約相手：富士通株式会社</p> <p>契約金額：106,008,002円</p> <p>契約日：平成28年4月1日</p> <p>担当課：食品表示企画課</p> <p>説明内容：一般競争入札を実施したが、1者応札となり、落札率がほぼ100%となったもの。</p>
【競争入札】 最低価格落札方式	<p>契約件名：景品表示法執行NETシステムの機能追加及び改修業務</p> <p>契約相手：株式会社ジャパン・コンピュータ・テクノロジー</p> <p>契約金額：2,030,400円</p> <p>契約日：平成28年7月13日</p> <p>担当課：表示対策課</p> <p>説明内容：一般競争入札を実施し、複数者の応札があったものであり、低価格入札となったもの。</p>

<p>【競争入札】 総合評価落札方式</p>	<p>契約件名：健康食品の機能性等に係るエビデンスのセカンドオピニオン事業          契約相手：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所          契約金額：11,988,000円          契約日：平成28年4月1日          担当課：表示対策課          説明内容：技術点と価格点の合計が最も高かった者と契約する総合評価落札方式を採用し、1者応札となり、落札率が100%となったもの。</p>
<p>【競争入札】 総合評価落札方式</p>	<p>契約件名：インターネット消費者トラブルに関する総合的な調査研究          契約相手：三菱UFJリサーチ&amp;コンサルティング株式会社          契約金額：11,704,176円          契約日：平成28年5月25日          担当課：消費者政策課          説明内容：技術点と価格点の合計が最も高かった者と契約する総合評価落札方式を採用したもの。</p>
<p>【競争入札】 総合評価落札方式</p>	<p>契約件名：アジア・オセアニア・欧州諸国における越境消費者トラブルに関する調査          契約相手：三菱UFJリサーチ&amp;コンサルティング株式会社          契約金額：10,953,360円          契約日：平成28年8月23日          担当課：消費者政策課          説明内容：技術点と価格点の合計が最も高かった者と契約する総合評価落札方式を採用したもの。</p>
<p>【競争入札】 総合評価落札方式</p>	<p>契約件名：親子参加型イベントにおける食品安全に関するリスクコミュニケーションの実施に関する業務          契約相手：株式会社朝日広告社          契約金額：15,984,000円          契約日：平成28年6月13日          担当課：消費者安全課          説明内容：技術点と価格点の合計が最も高かった者と契約する総合評価落札方式を採用し、技術点と総合得点の最高得点者が逆転したもの。</p>
<p>【随意契約】 性質</p>	<p>契約件名：平成28年度機微度の高い情報をはじめとする情報の管理対策支援業務</p>

	<p>契約相手：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社          契約金額：2,043,360円          契約日：平成28年4月1日          担当課：総務課システム担当          説明内容：機微度の高い情報について、消費者庁 LAN に係る管理対策、システム管理及び保守を行う必要があるため随意契約を行ったもの。</p>
<p>○第5 回入札等監視委員会において検討課題とされた項目</p>	
<p>・参考見積額の中で不採用とするための基準の考え方について          「より適正な予定価格の設定に努める」事例として、約2倍（あるいはそれ以上）の価格差があるケースについて指摘されている政府調査があることも参考にし、見積額が、他の見積額の平均価格の倍以上、あるいは半額以下である場合、不採用とすることが望ましいと考えられる。</p> <p>・個人情報の取扱いについて          情報セキュリティ管理体制や個人情報の取扱いに係る書類等の提出、また、必要に応じて、作業場所における確認作業の実施により確認。</p> <p>・競争性のない随意契約の推移について          随意契約（除：少額随契）については、それぞれの年に時限的に発生する案件を除けば、概ね20件程度で推移しており、今後も、この傾向が継続されると思われる。なお、随意契約を締結する際には、随意契約審査委員会での審査の中で妥当性等の適否について審査を行っている。</p>	
<p>委員からの意見・          質問          それに対する回答          等</p>	<p>別紙のとおり</p>

別紙

意見・質問	回答
1. 製造所固有記号制度及び機能性表示食品制度届出データベースの運用・保守業務	
<p>落札率が、ほぼ 100%であるが、どのように考えているか。</p>	<p>予定価格の設定の考え方としては、予算の制約がある中、個々の案件ではなく、調査費全体の中で、柔軟な対応を検討しても良いのではないかと考えられる。</p>
<p>予定価格について、見積数が多い場合には競争性が発揮できるため、平均値を採用するというのも良いと思うが、少ない場合には競争性が発揮できないため、低い価格を採用することも考えられる。</p>	<p>低い価格を採用するという考えもあるが、実際に徴取した見積金額にバラツキがあるケースもあるため、全体の金額を見て判断することになるだろう。</p>
<p>データベースを構築した業者が運用・保守を行うことは自然だと思うが、このようなケースも随意契約ではなく、一般競争入札をしなければならないのか。</p>	<p>データベースを構築した業者が優位にあるかもしれないが、本件の運用・保守については、他社ではできないという説明が難しいのではないかとされたため、一般競争入札で調達した。</p>
2. 景品表示法執行NETシステムの機能追加及び改修業務	
<p>参考見積を提出した業者が、入札時に大幅に価格を下げている理由は何か。</p>	<p>一般的には、参考見積は、基準単価等を使用し、入札時には、実際に落札すべく、一定の割引をして入札金額を決定しているのではないと思われる。</p>
<p>落札率が低いが、事業の履行状況は問題ないか。</p>	<p>低入札の場合、落札業者にヒアリングを行っており、本件については、業務の履行について問題ないとの判断の下、契約を締結したものであり、実際に問題なく履行されていることは確認している。</p>
<p>システムを構築した業者以外が、その後の作業について受注し、なおかつ安い価格での調達となり、問題なく履行されている好例か。</p>	<p>このようなケースもあるので、必ずしも随意契約ではなく、一般競争入札で他者も対応できるのではないと思われるため、調達手続きの決定は、判断が難しい。</p>
<p>予定価格については見積金額をそのまま平均するのではなく、どの業者がどのような見積金額と入札価格であったのかについて、データを蓄積して傾向を把握していくと良いと思う。</p>	<p>他の案件については、過去の値引き率を乗じて予定価格を作成している例がある。今後、検討させていただく。</p>

3. 健康食品の機能性等に係るエビデンスのセカンドオピニオン事業	
データベースを所有している機関以外が入札する可能性はあるのか。	事業対象であるセカンドオピニオンは競争性があると考えたため、一般競争入札（総合評価落札方式）で調達した。
セカンドオピニオンとデータベースの追加・修正業務を事業として切り離すかどうかについては、今後の検討課題としてはどうか。	事業を効率的に遂行するため一体の事業として調達し、データベースを所有している機関以外が受注した場合には、データベースの追加・修正業務については委託も可能と考えた。一体が良いのか、切り離しが良いのかについては、今後、検討させていただく。
4. インターネット消費者トラブルに関する総合的な調査研究	
技術点は、どのように評価したのか。	経験値を重視している。インターネット技術に関する専門的な知見があり、過去に類似の調査実績が豊富にあるか、また、有識者とのコネクションを有しているか、といった点についても、効果的に本事業を実施するためには重要。
5. アジア・オセアニア・欧州諸国における越境消費者トラブルに関する調査	
技術点の評価は、「インターネット消費者トラブルに関する総合的な調査」と同様の考え方か。	基本的にその通りだが、本事業においては海外の消費者相談機関等を訪問するに当たって当該機関と交渉・日程調整等を行う必要があることから、専門的な知見に加え、このような経験値を有していることを重視している点は異なる。
6. 親子参加型イベントにおける食品安全に関するリスクコミュニケーションの実施に関する業務	
技術点の評価では、どのような点を重視したのか。	親子が多く集まる場での情報発信については、過去の経験・ノウハウ等が無かったため、子供に訴求するような活動に係る実施能力を重視した。
事業終了後に、どの程度の質の業務が履行できたかについて、どのようにチェックしているのか。	子供向けイベントへの参加業務だったので、ポスター等の作成物が子供向けに作成されているか等、技術等審査委員でもある、厚生労働省、農林水産省、食品安全委員会と協議しつつ進めた。また、既に終了した業務なので、報告書も提出されており、実施概要は、

	ホームページで公表している。
企画能力に係る評価が高かった技術点 1位の業者ではなく、総合得点で落札した業者が実施したが、問題なかったか。	受注業者も実績があり、知見が元々あったので、問題なく実施できた。
7. 平成 28 年度機微度の高い情報をはじめとする情報の管理対策支援業務	
システム案件について、一般競争入札で調達している案件がある中、本件は随意契約だが、その違いは何か。	消費者庁 LAN に係るセキュリティ対策が必要であったため、LAN の契約業者と契約する必要があった。
随意契約の場合には、見積価格を認めざるを得ないと思うが、どう考えているか。	予算額の制約があるため、可能な限り安価となるように業者と交渉している。また、この経費は保守費が製品価格またはカスタマイズの 25%以下であり、他社の例と比較しても、見積価格は妥当であろうと考えている。
見積価格の妥当性については、他社から見積を取っても、同様の傾向が見られると思われる。経費の内容を検証することが実効性が高いと思われるので、今、実施されている検証で良いのではないか。	政府 CIO 補佐官（消費者庁担当）（内閣情報通信政策監（政府 CIO）及び各府省情報化統括責任者等に対し、専門的・技術的見地からの支援等を行う専門家）にも、見積額の妥当性について確認いただき、必要であれば、適正な価格となるように業者と交渉している。
第 5 回会議のご意見への対応状況	
参考見積額の中で不採用とするための基準の考え方について	
例えば、見積額について、高いグループと低いグループがあった場合には、どのように考えたら良いのか。	不採用とするための 1 つの考え方なので、どちらのグループが市場価格に近いのか調べるために、更に見積を徴取して傾向を調べるといったことが考えられる。
入札を繰り返し実施することで、データが蓄積されるため。今後もデータを蓄積していく必要がある。	実績を積んで、落札率を考慮に入れることも考えられる。
この基準をメルクマール、参考として位置付けることが適当ではないか。 実際には、必ずしも、この基準に過度に縛られることなく、今後も考えて行くことが現実的ではないか。	
個人情報取扱いについて	
仕様書の別紙で届出の義務付けや再委託について規定されており、問題ないかと思	案件毎に、個人情報の取扱いも異なるので、各事業の担当とも相談しながら進めていき

う。	たい。
競争性のない随意契約の推移について	
横並びで、件数だけでなく、内容も整理されている。今後も継続されるとデータも蓄積されて良い。	